

公表:令和 2 年 4 月 1 日

事業所名 めくもりの森 北光

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用児の発達特性に応じ構造化を図っている	視覚的刺激の調整と活動に応じたレイアウトにまだ工夫すべき点がある
	② 職員の配置数は適切であるか		○		区分1の事業所なので、子ども1人当たり人数が充当するよう工夫している	左記にある通りに努力はしているが、支援内容に一層の工夫が必要だと考えている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			配慮している。	姿勢の保持が難しい子が過ごすスペースの椅子や机の配置が必要だと考えている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員間で連絡帳を読みあうようにしている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				新たに開設した事業所なので、今回のアンケートを業務改善につなげたい
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○			今回のアンケート結果は翌月の通信に反映する。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		他事業所の代表を招いてコンサルテーションを行っている	今後、検討を重ねたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		3ヶ月に2回は「おがる」の担当者を招いて研修を行っている。またスタッフ個々の研究関心に基づく研修会参加についても配慮している。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		(工夫している点) 子どもの関与観察、保護者のナラティブの質的分析、関係者機関の所見や検査レポートを統合し計画を立案している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		それぞれのプログラムそれぞれのプログラムのためのアセスメントを行っている。	1人の子どもの日常の支援のためのアセスメントで得たものを統合することが課題
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		放課後等デイサービスの特性を活かし午前中に行っている。	新型コロナへの対応で朝から子どもが利用しており、困難な状況である。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの特性を踏まえ、プログラムの内容を変化させている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○		プログラムに多様性を工夫しているが、なかなかうまくいっていない。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			(工夫している点) 区分1の事業所なので、集団活動に難しさはあるが、運動プログラム・外出(現在は特定施設への出入りは自粛)・クッキングなど工夫している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		(改善すべき点) シナリオの作成に努めているが、実践してみてもの結果との非対称があり、それについて検討中である。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	(改善すべき点) 支援終了後はそのまま子どもを自宅に送り届けるため協働の省察のための時間はなかなか確保できない。翌日の午前中を大切にしよう努めている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	個別支援記録は徹底している。	全体で共有するための時間を生み出す工夫が必要だと痛感している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			○	モニタリングは保護者と共有している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	児発管及び正社員が対応している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者の了解の下、学校の担任の先生などとの連絡は密にしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	送迎時などの引継ぎが形式的にならないよう配慮している。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度初めて特別支援学校の高等部のお子さんが卒業した。先方の事業所とは直接打ち合わせは行わなかった。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			おがる担当者による定期的なコンサルテーションを受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	弊社の他事業所(区分2)と合同の行事を行っている。	広く地域で活動する諸団体とは連携するところまではしていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後、検討を重ねたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			(改善すべきこと) 事業所内相談支援や家庭連携がこの開設以来の半年間は不十分だった。今後積極的に行いたい。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		ペアレントトレーニングは行っていない。CBT的なものではなくオープンダイアログを研究したい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		(実践していること) 当事業所の基本理念はICT-CYに依拠しており、その点で保護者への説明を徹底している。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		送迎時など、保護者の語りを傾聴するよう努めている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後、成立～発展させる予定である。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月通信を発行している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか			○		細心の注意を払っている。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○		子どもとは絵カードのコミュニケーションの練習をしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後の検討課題である。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		策定している
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		今年度早い時期に実施する
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○		(改善すべき点)スタッフ個々では児童虐待防止協会の研究会に必ず出席するなど関心は高い。今後組織的なものにすることが急務と考えている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				○	他害のある子どもには必ず1対1でスタッフがついており、身体的な拘束はしていない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		事前に保護者から聴き取る最優先事項の1つであり、注意している
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○		行っている

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成 年 月 日

事業所 ぬくもりの森 北光

保護者等数(児童数)

回収数

割合

%

	チェック項目	保護者等数(児童数)				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1				
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2				
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	1		1		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1				
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4	1			
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12					
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	2	1		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1				
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12					
非常時等	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1				

の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2				
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12					

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。